28229

2829

清國五象修行自序

夫そ極の一理陰陽の変化より
天と成地となり男と成女となり清き
濁て陽田川となる濁るハ濁て濁河となる
稲ぎとなりまぐ稲となり下駄となり焼
味噌となり月となり泥亀となりおこき
徳利でハあれども二人揚つてあまけりの

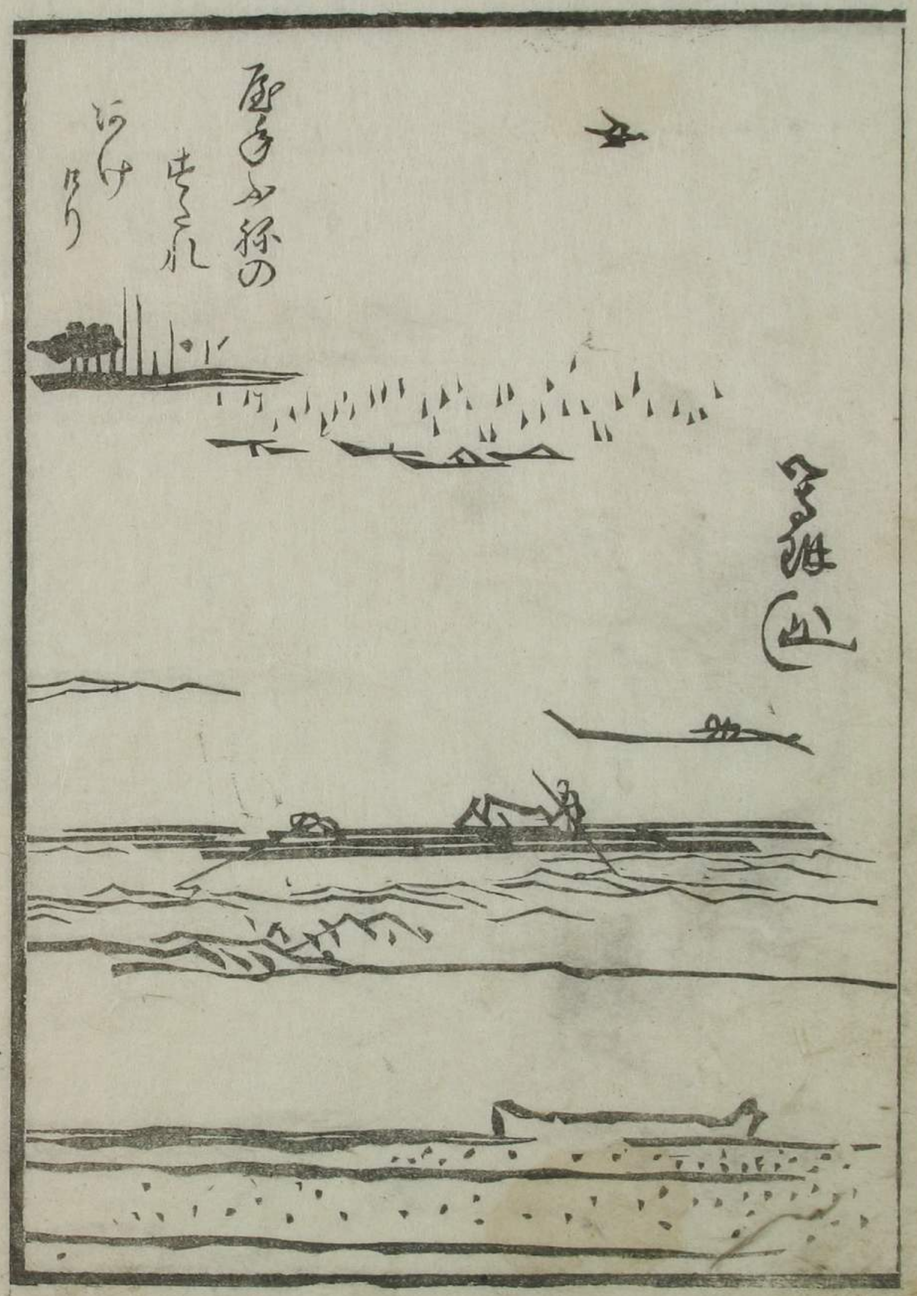
人喰馬かもいのひとちどり遠き都をたんで
まさつ〳〵鬱〳〵と後に記してのふく
者れいの毎〳〵発と寿ある事志賀利

于時文化六巳巳年正月發行

諸國無茶修行

山赤亭川々著

江海波志づうふおをまる郡代のいさおーハ
いかもさ〳〵なり列て東都のもん菓ハ蔓形の
赤作り形をもく〳〵土用のうち松魚のさーこぶ
吉束合てゐるのでゐるべし叮るなをまひし
てハ行のを志ても食れそうなりのあるふ志れ
志れぬ 麻布 志行うの孫十八丁めゑ 釈の代より



醫師よて奴田玄紀といふものいり。行の皮が
一まいいるとて百ぐ[illegible]んころりちをい裕を
まげて紙うをまくる糸りちもくちんざいぐ[illegible]
喰てしまひ流こくいしや紙りとおりひくち居ゆの
巳太郎ハうゝ恋でもまるつりちんやう砂ゝず
狐まきいれ家をへとうとうとう

きつてもきつぬうとーそいつこさ又きつぬ〳〵人も
いるりんぐ 巳 あるわどそそおいどぞおまくハ泳ひく嘉よ
あれハ我きハといやりんぐのトくまーのうちもーぞの
うまーまーうりまさの 巳 玄さん
ぬこうハ隣田川のうそーぐぜ 医 ゆ おしもきておんで
いるけさてーハ八月百菓が優りぐめくとをるとよ弄おう
みんとうの 耳巳 さよのさ 医 旬のまてーとうくとがいうひ
者ぐいくるがちんといわ者ぐの 医 いのアゆ いもめさ 医 ぞてち
こ弄と者といそのちりんぐぶと くびとうとげていくるが
まくまてうぐー

ひくとなるもきうてあれまーつまーいのれば
いぐてとうん ぐ 屋こ ぐり こう 玄
とうそる 巳 おめくとりやア繁平のこ弄をぬくよーたようぐゼ
玄 うちちのつてあゆ今者りひくこアあれぐるぐそれぐうぐ
女よけのちるとだーやん 巳 年ハさるかくも暗くちくくりアア
のうちいくまくくく

巳 大きよいつくあつてこの 玄 そうきおもちつの ものこときて
汗がでる とたぎーあぶ まつきさでる 巳 まそぐ川の ものーきハ 玄 うこたぶ
いつちいてよ 玄 松乳山 こうる 紀の ものーきもまんぐ
でも 極くよ とつぐ ものきあぶ まつさきい ありしんめらく まりうこうちぐくよ
ぶづぐぐくいでると 見れも ありればよいせんぐくをするつりまて
ぶぐ 極 ものく 極の 宿よきーうれば 巳 玄さんやどと
ところでハぬくう 玄 まうーやぐでぬくたぐこくハとそよ
のぐくうちるぐんきぐむーーーりぐで ものぐーこーかぐ
いるものくところきあうのくものとありとふーくものをすりまて 玄 きくー川さんく
とうぶこの ものくむーーの ものとようぐれちんぐでもーーの
ありとうれーをうよたうていぐうくーこやとうもて 巳 きく ナヤ 玄さんぐ ものーて

おうぐでちんーーく 玄 あれうようおくぐぶーてとうよいるのぐ
巳 きく これよふういとけのいうるぐでものすうぶちようつとハ
ものさんれくちんこアおいうぐんあんーーを 玄 ものうようをとうとび
巳 ものの二うのくいうぐうとれ
よりかやのぶぐ
ものとりやす 古 きつけ いぶいの ものよ
きーやーうーうぐうそハけ、うものいせい
ゆくまとあるうものこ人のたくみまて ものとう 肩の ものよかハ
ぶけ ものくよたきやるつりくりふくりーていりやもせとこく
八 はぐ ぐんとおりやとうう 吉 紀 ぐんき うくく 巳 吉 郎 きくり

ぜんきんりのへうどが内でいんごそろりのけくろふどやア
移くゝ園ヲよく走てくれくゝ園ぶりでこのあと
いつくゝんごろうれ一いまた夜のあけこのゝちく
ずまいごさ時まきくゝんまろきあめくゝまきあん　さとり
大観梅のかぶろうろうりげとろうんごようて
りちやいがねくが内でまろうがあんごるまろて
のくゝごのえとまりねくが小嫁ものたがこまひふ
ろうあごりかるぶ節でかろうてくゝ藤市まで

一捉一合ゝもとる。さてそれバ二合ゝるがいのすまで終ハ
あるめくゝとてくゝみ園きくゝ市やだろうしひりちつきちやく
いちんやごどふこもしていがりゝいする夜がをけハ
きることがおつちん園だれぞようてくゝねくゝ園おまち
なんしまかたて園ちとこ不きあろうトいそいそ
りくゝあひまくゝどつとふもごぎりいちんトごりやろね園
ちんあごトまんげろうりのでもろうしてくんねくゝ園ごまろく
りんごねくゝとい園已きこふこまろうしふ袖ち

[illegible]

[illegible]

[illegible]

なつくいて
さあこうふーの
のこまつく
まつく
いんきハ
たの
ぎや
むん

トらでさとてあづ〳〵そろ〳〵ぐ〳〵まさ〳〵しろうろろろよやく〳〵よづあげそこら〳〵で戸を
行る由加とこ〳〵のさやゆよこ〳〵とろけることと〳〵のころ十六七のひすめいらい
うえとし〳〵あづまいうとこびんたげていろのまつくろろ方兵をあやゆよづ〳〵けよ
し〳〵てかてあびのまつさるすづりめよさどこづん〳〵ろ〳〵の大をいれてろって
ひづるとら〳〵
ととて 玉 めく〳〵まい〳〵つ〳〵ただぜトこもの 回 あめく〳〵ゆふぐの
如〳〵よたづ〳〵うされたつていのむすめの一つことと
でハねく〳〵ふ〳〵よふちて中んねく〳〵こくともてて〳〵〳〵〳〵のく
よくいとてこ〳〵づのこ〳〵のきとろり川よついてゐく〳〵まづりいとつきのゐ〳〵く
ぶ〳〵もくむこふよりとこどろ巳十ぢろりのおとこをよらそづ〳〵そゆよろ
回 玉さん ひこふ〳〵ころ〳〵ろ〳〵よりのとこをて〳〵ろぜろろ
玉 こいろ、おりろい回 つく〳〵ふふふふふみて
ろ〳〵とそづくろ ろれハく〳〵 まとよ

ひさ〳〵ぶりで出めよろりまし〳〵ア どそのこもごき
ぐんよろ〳〵ぐ〳〵ぶりますろ今日ハどもろ〳〵おいでおされ
まん トまこ〳〵ろけてひよきのく いろうてそろ〳〵ろ〳〵ろ〳〵
玉 どろ〳〵あめく〳〵ハこるますれこうたし〳〵ろおきよが
たづけの回いくさおまくのの成を形よおりまし 回
ぐ〳〵てんてさそをそんあ〳〵だがおいたづけ 回 ろ〳〵ろをて
しく〳〵まこのいのいぐよ 回 そんろ〳〵まこそのろ〳〵ろ
りまこ〳〵 回 こいつハでそろ〳〵そんろ〳〵だが悪いだづけ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]ト いろ〳〵大きなあんぐをとりしまい
そこへはまだ[illegible]てこうと
ちぶくいハつきのぎゝへいづるこの旨をたやくれ[illegible]
ふにへまたをちよりやどとうゝんをりいこのやのあるで[illegible]
ぐとハいゝ・アのーうをうくりみすぐむつてをまぐ[illegible]
ぬとうくまんこのさきくゆろーるとゝ花屋どのがいるうゝ
そんへいてたのまーゆし[illegible]ゝ[illegible]れそまられ 図 おたのみ
りまーまんこのうちものでらしーもとどちうゝおいでなされまを
こて六十ぐらのおぢいで
図 ハイ ちとてーらハゝアのりのでござりまんがたちよ
まをつて宿をとりたぐりまーこうゝおーじひよ一ち夜

おあをすつてやきりまー 図 ぐ 次戸ハ伝ぐでぶる 図
禁布でこきりまんト二人しも[illegible]こうちる 図 てまをつてこのぐぐのぐぐ
の字ハわていやのわてのーぐだやを 図 おうゝんどぐでまをよわぐぐ
ござりまん 図 よくござるあとまりおまーこんもちよて
ふうとくんでいのぐろ下女とこてーてハ七のかたよりよのくとくんでくるスくを
がるの掛物をつとのをちくいりをてハこのりぐだまんを
きいめーぐどのをまつのこころいりとまくりれバをん
ぢち
流うくでござるの 図 あんぐ一ーもあをされまー 図 掛ハをぐ
ふくるま 図 めでたしおうくくをとを忍 図 をりこのくず

梅ハとだずさくりもかれぬ世の中は

あよとて雲をめでくらるゝ

いゝえていしもさるりのまて世界よろこぶめでたい事じやとまーしやる

そのうちまぢんをとりうていで　仁のもござりまーね〳〵こうとくとーやり

まーー　図やとりてこえいめーしハむぎのーしゐたまこをのさゆかどてこと

よろゐるまちよくハちうきのものひとーしゐたまこをのさゆかどてこうんバ

いもぢのようをりめくいぶゞ

げをとんてうこりのきり　図これハめづらしいうめくりのぎぜ

図うまーござりますう　図そんどうまいハ　図そんちゐ

いのすハその実ことをてこをますぐい　図ようろふ

ぢくとまるこの松いきろまーてくらまれつきよくこをまるまたまれバつやのようきまこをまるまたまれバつやのようきまこをまるまたまれバつやのようきま

そーだらーきてこゼトいるこ
めとさまー 母 このあとハどつくらきて
ろんぐァあとだといきまきて
あてれハ女ハふぎりらぶーで已きーがよろつくーと二ク
ふうくーハやるこのりのあとハおーのうちまてゆや工へシ
まちのできてくようるりこのうちおくのあらで
一ちどいーどとをごーくーヒがねどころくうりむをーくねるやーず
やの女ぶうきんーじよでからとまれるあどのくちもうまーきぐーおきらぐーだい
きんえ 父 おちよくートちびよんべてめくの神どこ弱き
げいよきハぶーうくーとがちよるすぐあつくのぐ 母
ゆれハトいろとぶりうとハぶくーそきーれます 父 いやめくーごとをせるなく
だれがきくーこでいろ 母 いくーなだがくるふとがくんべいな

ぶーハ女 父 そくーいこーゆれハバるーもふーぎちこゆくーが
おーじゆりまーたてトれまだいきくーれどうとハごーちくーよーく
まちゆくーねるこわどちくーおこされていよいよーしづまる已きくーよふーくろもちつき
いよえふぐがちんまいもちろてある母くーぐんさくつけて
こきつくーこれハぶーふーくーとるゆくトいくーぶーだいどくくーこれハ
ぎよくーもうけてある已きくーこれよハこまりるいりのとおとくーてきくーとハおりひ
ちぶーちくーぬふりでいるこやぢんもいでられバゆやぐの手とおとひだくーふくと
とりてこれバまろくとナクぶちやちりこれまておりくハゆやぐ赤ーちくーのひくハ
うぶちやのつくーとこくーとりくくくーめくーもくーもひてくーまちつくーれいを
のぐてもくーぐゃんをくーふひまくーくーと 母 已きくふいふぐ女のとこく
このうちをたちいで うちまぐーと
いつくーさる 已 ちよ女のちくーうーぶさくのぐ 母 ぢゃいをつー

なるよ女ごゝ為れをとうていきゑアーめ〳〵
うの女ようぶかれとうとゝ（トいてあげうとうとうと

吉原ハりつていまん　雲　これハめづらしいしやどの
山号吉号ハあんとやます　園　正気散　松柳　よとりまゝ
女　そらも山号吉号ハござりまん　おやろ　ーてちんと
ていまん　女　色だくさんぶさくりーど　これよてろふいとある事ハこの
さきくいなぎるいとをでえーめそこんちふぎやろをところくきさりーも
うそなるくこのところハありりめくめいしよよてのさどよさくあるおとのさくれバ
いるありやよさちよりのぞきこるよれるとこぬてもいろーろき芸にわすくうるど
一チきんよちさだりよこーろちくけいるやちりめんをわるさまえくのをもうかといや
むやどのとそいおうふもうくるところの　玄廷
いるりのことありるずこちまさむ

いまぞーるみもをゆのなどれかハ

波丸　ーーさふ　もこやこのりとハ
トりてるとこのやのいるどよちやーくこ十だろうのおとこあびのさきいるのまさまろ
ちるぶこれハありやのてんーもやーくまそありつとをとをもむるゆへなり
豆　さてーーいつあるこうこハ奇くんでいさーやるこまれれバ
おいとのまうをこんへまんがさどめー奇俳行でも
なされまんう園いやーハ流おいーや俳行てござる
四　こーハ武丸俳行でござるトりてるでもよいという園しうさまよよ
ゑれおうこと尺くまん蕾人私うとのかびつよ児めづむーけで
とのかうきんざいくーまん一ゴごんりひさりまん

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ちゃうしゃくとやもなされまん秋豊玄伯さまと
いふおうさくおめよりけまーーーこれハむづかしい
ちて恋やくやぶ祈りやくやぶもりのいんまのと
ゆをとたくーまーとがーっこふよぶんぐこくまセず
ンゆ者くーよまをこハうちくぶんでるーーセきハたの
るーーこまりきりまん園いやそれハそのいーやどの
ちくちぐひーじやむうーータぎりといふ事ゆがうう
たときよそのよふなりややーーじをそとぐ一チ紗ゆど

かつてよふーいのちをたのいぐだうりぐそん今まごるい
ことでハいうぬ園ぎるゆどそんをたをーーをぶんごぐて
うげたまりまーーとてそこでハア矣もそそふーーぐく
きくまーーとがいつこふきうーまセぬ園イやこのよう矣を
まくぎーつこう園ぎまふでござります園それまちち
ぐひーじゆいへまりまやくーー矣ぐできくーとくそんでちくゲ
いのぐつとでいのうふ園ぎるゆどさようでござりまん園
それハあやたセぐるいうつちやつておくくーとくそよあるう

おや
親しちのさりつ屠さく大きな魚をすくてやらくーまい

図 ゐるかどーてとうそ えんまる 図 そのうちちやくーちそーまいさすごいーまの
ぎいいつさいむーまでござるこーがんまりとのまやると
たちまちこのむーがとれてらーやかなります 図
このかりのよろこびまて いつまのさのまつーまるすぐ一ゆくーむぬまくぎを
さすよろのぎおこまりを ねぎらぎようろふよろふのいっ 図
ちちをろって さよふまあらおまを孫ぐひゃまん 図 まれぐようろふよろふ
ちやまときいとろ二ゆく 図 りとも 後よいりまてこざりまん

うそーうそよ ぼろ一名かまりまー 図 いうまあおとハでーま
ござりまやろーぐいを ぐたびでかまれバおーやまよまとぐひ
まやろーかあーすおかあいろくされまんを 図 イへ 屠んひれ
さとろあくごちをくーハでけませぬ 図 まれ がかつてござるこの
ぢいさうるていーはハろてんぐりとおくせぢんをいどれこのへんハうまくとのおさ
ところあへこいろーきのちをくーあーいとまひーかこいのとけをまくふいて
ーまいまーまくもとうてまりうまりまとぐひとまくーふをひとまりいれてうすこをま
ぎろくまりこのまりさくくこひのまーハうひこハあーまがをとれてふーこの二人くらいくまでてつて
まりづいぜんちんまやくのまりいろくいまり
ぜんあかケこまりひまをーこてに 親 おに のつまとろのちく

第二廻目

[illegible]のきよきもゑ[illegible]とでまて[illegible]
[illegible]ってが袖ぐるまでひるく[illegible]の中[illegible]ばるぐし
彼二人ハそこにあるおとよ目とさまし[illegible]ぞくしるのでまれば
ふせごもたぞとぐん[illegible]ちをどりちいでまことの
お錦とりこうひをどるく[illegible]小児[illegible]
[illegible]ぐんもちしぶん[illegible]るむ[illegible]をこうたれまし[illegible]
[illegible]めさいう今日ハいつまないぐんきでござります[illegible]イヤ

そこでいろ[illegible]時[illegible]こんれうハたゆくを
りちいまん[illegible]よろ[illegible]うおねぐひまんと氣内のよろ
こびいふでりきく[illegible]でらといきまでとりうして
これとあたのこおて二人[illegible]ことのあ[illegible]と
とむ回金ハこのあを洋列ハおきよひろまるもく
たれいふとなくこれのたれどの[illegible]ハおひア[illegible]
[illegible]がこざつ[illegible]ぞとあん笑おうびく
[illegible]人がるいうこまがいくといくハ建ハづうでござるとく

こーがいとむとりくでさんきでござるとてむかがりくむく
いくばさやくごといよあるかどとてがおよしごえいどや
とて大きなさるゆめのかどハさくずまづとがんハうね
りふけありさくこてにきのどくあるハけあのあう
城のすのありおいしやさのいこーやるすあれバとて
そうさあれはてめよりまあ殿とるをさりつ殿てこ大きな
きをこうづきくら形るいくるロまーのさんぎーまつき
已きとハ武さん仲しぎりのりのとまくさどゆーゆ御の

ぶいくあるべーとのうこさふているあきんどよめあひ
すのえぞんたづねきてちうづきなる已きとあ
あくうまくかうふづうあびいをおのどこてこれくくよふ
おいでやさりまーくこてこ鬼逸法服が求薬
まて已已きとまくまくハまづおくろやきくをれバ
おてをーがいこーふくひさいくくこれくくこのうちでのくちきくさとふあう判官様の先生きいは
とこくきくこいでさるのおいくでござりまくう回いうふもさようで

ごぜる宿かとふハまきしーき糸屋もごぜるがたびの
とのへ〳〵ぢんハいとさぬきくが半〳〵若より皆づる姫へ
おくろ〳〵小と矢をかつてあるて図丈ハめづ〳〵しひ
りんをおすちおさんれてどちとちひんハありまん
まいう図丈ハなようりゆをいとトりてをづ〳〵をぶくろ
をりよふをす　ち文ないさく　よりこちぐるのたんきり〳〵
ぶくや　ハくれく　もまいるゆくそくのところ矢
んとりのゆ彩のたーくよるくいでくよるん

ぎりとしてすう〳〵ぐぶんうけたまろりよんぢころ
ちくたやーーよまいりこゆ〳〵ハうとさまたがるずうの
ぐんりんろろうるおどーーのようりいを矢のさやを
ちーーまりいでゆ矢をくざよ矢ロをうちあて
大きまろりんとろとるたぐこふひいくーこふ
さんやーさんごやんこうれーゆまーけーひよいとん
ゆくそくまてすぐよめーーつれくうれとれ
いとーこりちよよこうけまちりくまりころ

あと金ッかくをたぐりかしらけまくん
ぢんねどハぢひ〳〵まいりまゝ成やくそく
虎のまきの一巻ぜんぢ　おれひされう
そしきゝことハそのかしというゝく
めでたくとゝれ
らしよう

みなぢ後
倍よしおうろうてこれハくのづゝとりのをぬい

くんくゝまゝこゝ恵いしゝやさまのおぢれぢかよう
てきぢわゝこうんをこうんで　いうろうとおうひまゝさ
トいふ　ぢうをくゝんゝんゝてきゝるゝくゝをゝいれる四ス
そのうち一人ゝふうよりくりあだくゝさんまてことのゝうきくぢねと
どもしをまる　四つけ　おまくハ鍋ん　じつうひまおやを最そうを
ことぢ　三ぢのの　やゝんそうよゝてぢふをれバよぢざりまん　トきく
四もる。をれる。ひゝくゝるをまくをれバまんゝるぢざ
らん　四　ぢる　ゝるゝねぢゝ　ゝんゝ　ゝをれバまゝくゝに　二人ハとのまく
ねて　ゝまひゝねぢまくゝいのけ日ぢぢけ　ぢゝ

ひまるれバとてう稲てきてあよびゝ　飯田川の鮒
いろ〳〵ふい〳〵つまり　あ十紙村いろのきりのこと
さゝてゆく　道ちう　図　こうのとねこのきさんゝハ
あむさんをつさをとゝ〳〵れさく　ほどたほゝのうゝ茅を
おろをバまとゝまられびきあてあきぼりのさぜようまく
つりゝとおゝ〳〵ろさまうをてゆれうゝもゝゝびゝ和てゝ
とよひ和月おゝくゝゆあれがうゝろゝいづゝ月　武蔵
のゝ　ゝゝも　たよハたゝ　ぶゝく　れバ　図　おゝいらゝ

こゝ月のこゝろゝうまちゝ　今　よい　春うまゝ

図　玄さんおゝくゝさゝのゝでゝきゝだゝぜ　図　おゝいゝハこゝんきこゝやゝハ
ゝんのゝむゝざゝゝもゝゝど　図　とゝまゝきゝよゝゝのゝんゝまゝゝりゝおゝとゝゝくゝゝるゝゝゝるゝゝつゝで
ゝくゝゝふゝとゝをゝゝゝゝふゝゝゝゝゝゝびゝゝゝゝゝゝ

きやうく　ト二人ともどもぞうもつをうるぞぶ〜ゆとのごとく
ちうもくをりたまふ　図　玄さんこうに種べびくとうにさんしぞ　図
をいつハ出く紙くまくきをつけれバいつふ図それぞうてらいま
ちとむいているうちとうれさのごとをぐちまるすんぞ
図きのきうぬく男じこセ図ちうにうず
郷ちうとういとうれてそのいうとうれば
りれいぢるの色のう者れさやけさ
図とんぶをぐひうぐぞ図これハ家にうまりのろん

帝でこのごろまりかれ図
八ふれバいるをとうれてくう寺まれ
ヒがく　ゑとうでけりハセ称ども
むくうちきまうぐて二人ともびれりふけるやどく
うりいつものぞーきくこうりと稲ひとおまくバどうぞの
いつまひのうちるにけあ人ともるとうあ光ハきまうかり
きうるまぐ門にとおとまうりのハてうり三割わどふさの
ぐ士まておぐ人のいーうにのれども広ごるぶとうけとまうり

[illegible]のたゝまいりしーよしいれりれば園[illegible]
のーゞんごろうよゞまんきてゞゞーきのきゞハ
いゞでござりまん 園[illegible]ーこ[illegible]ーこ[illegible]れ嬢ぐござり
まんがいりのとこりくゞありのがいゞーまーく園[illegible]の
うちよきてハさきりまくとろうとの[illegible]いさいきてよーちゞーまーく
ゞゞくゞゞきとりのとうてろく
おーつけまりうでござろーうり編と二ゞいまんをうゞ[illegible]と
このけておうーゞりませトおくてつゞとくすゞ[illegible]きこの[illegible]れ
くゞてつとろゞのろうりよきて三人でうの竹のこゞさとうゞりとまうこの
ゞのうとうついくゞ見くとうきたうゞーゞゞとうゞとうゞとうゞ

たゞうゞくのーゞゞいまうよゞ女身だういきーゞゞ三留のうちも
とーとゞとやゞわゞどゞくく病家よいとりゞとれいまくよハ
一ゞゞよ行と極いろくの影りのーたゞ門よゞやのゞねをふき
うちよいつてこれでゞうゞよこ玄関とこうまくうのれくゞう
ーきます仙家よきこれゞうゞとこのゞまゞ三病家よハゞゞゞ
言葉とうつけて使よきこうーくをきとて三こく
たちいで蔵のーゞりゞどゞーゞゞひゞきすゞくよゞゞんくゞゞれ
まくとうつゞのりのうゞりていんきゞよとちいくまをう

これどうぞ
しんりょの
まねかれる
のど

五て大変(ごーき)べとふすーじきまちきたぢこぎんいづる 図

おーつけとさくおもうようてきまん、ごあるうりとトいいきうーくぎうりていくこの

ところおくくとおきてのさういとところくてろろうとぢぢくーいうやーくきーじの

いいよりなののぢくーていきてあるようこうこうきこうすうすめく 図 白り と

ーうあてミやるとなどもろうーくまてあげめくまわどもくきーうる

めくうもうとまげてこうやうるとまくうーくまてあげめくまわどもくきーうる

うーおとやるるめくこんどハさゆうのふあびでくもうとひうげくきーあびまて

いのんべいとーてまうくーいるとうこのやのいうーじとくゆーぢうりのあとと

ちうまこおりでいぢきーとる 図 きもとうげーて 図 つとうくーうこのあで

をのてとうきぐぢくーの白いきうあうり

ござうまんが移白ぐでけまーてござるでとうーとどーん

ひさうまー 図 いづれごうふすーと 図 ちうーちうーこうーこうく

でやれ 図 ハイトこうこてこうこーりうよのふうーとでをきて女よてとびうれさいぢん

きーりおうりいぢーてよくくーこれバまいげのいひぐすーこーのできかの

できーこうあうこうこうのうち大きはおうーくれどもおーぬおうりーて

ミやくーとミくーあどきぢり 図 さーーておいーん ーじをさるーるぢーとござうり

まちん トいいざうーこう和てよをといのこふやくーとうひどーてなとんれバ

よわハきいいとのぐておくーもうるいうとまていろくーちうこーいれ

ぢーりぬぼ こくーうるうちよあるもやこかくーうりとまてれる

図 丈くーおいとあごひとーて大あまるいまてくーる

うちちよやどの峰とくー坂こちをもうあのいくまいうーじ

がけうて枝とをきちどりいーーまてくーるむこぢーよぢるう

うせうえんばとのうちへとゆり園酒をひとてーーいっぷく
げときうをかだーてられ園ハイよりあいでおきれまーく
けつらふをあてんきよをのりまーく園をまおりいんだま
ものとくてはおくのこいとりーぶぶんきろ色とふーんきろふとりろといとぶろ
ゑをりろろくくとろろくーまどちろ色でくちれぬろくとーてりまくあるくー
ほきけもっくーまいくーい立ちるあれハ意例いうきを山よりロ出ん少使ふ
できうろあて
きくりのどが三口のぐちよみもとふ出ちあんがいるとのると
きとーーちんぶなえうふノハとおつてたちよろくるちりとく
ちんを園ーあれ園まところくろくそれハよくことをもつげくどさり
大きまおとれて

まーていりぐふどんでまんトどいぶよいぶくーーているくとーーす
ちろとびいつぶ丈酒代とゝば園これをちろくーどんをちろいろくーーとーの園ーすま
いつとりぐーーいろくーーいろくーーいろくーーいろ色ろきで いくく 只い後
いのげまーくハまとふおくきでぐさりまるすれぶこれぎくと
まづひとどんりさりまあーーといすげ園をんをとまるまりも
いうろりとうをおきめ ほくとたつてこいのとをもこまるとりくくとーいめを
くるこいくとふのこりーー村のものどもいうよーてもぶーぐの坂ぐぐを
ゆくこいとつけてうんとそた大ぜいついてる園たまりーの移て
ちぐーーとあり足行ぐ函をてふさぶいろくまんよゆげどばあつてれ

かれがもとへとまいりますのゝみぶがありてたがふたら
まるりんぐーてうちやくされるよふ〳〵をかのりの
ひびきてこゝまきうちくくけることろがこのゝーもこゝもたくず
やんぐくもなく祝ている縁まつこ色を所ハ代口屋名かいとり
ゝ義ひれいつまり仏の師ゝ山代のりえんどころ
なくけとろの左場くいどまるれ丈の先生と声いのつまり
かありたがひよりいさつもまゝて鬼がとかつてヤット いゝと
のふてんをもつてうるがれ三人同みぶどゝとまる長

まいゝやどのとろわきたちおう遊山へひろひがくる素紀も
えぎのゝやうを見くようとくゝ明くとゝいてろすえ色
已を所ちきがつきちきをこびをと主度まとうるまとどろ
せまきとろのあゝひあれば相ゝどの浮利とり二人
ともめんだくをくこのどろうと夜ゝひるまるちうゝ
ひ極の金りかけおて遊がへハ年ゝ出ちつてたのゝむす
ゝるゝ 後篇とゝてゝしれ

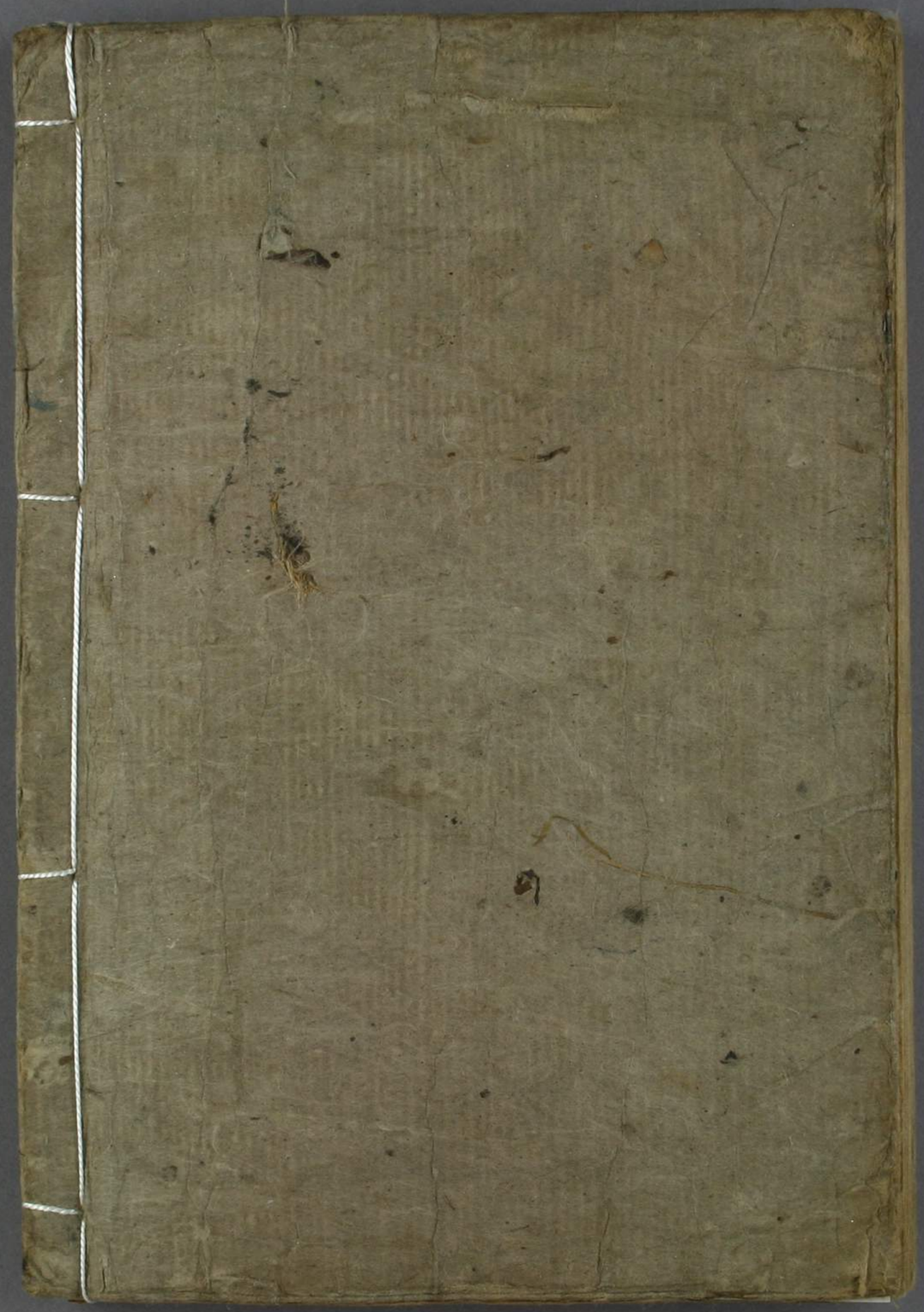
諸国巡業修行 終

東都

深川齋等琳画
山赤亭川名佐

孔子家語 一冊 出来仕ひ
同 孝篇 二冊 近刻
夏侯子未来記 中本二冊 近刻

文化六年巳丑月發行

東都書林

日本橋四日市 竹川藤兵衛
麹町平川町二丁目 伊勢屋忠右衛門
赤坂新町三丁目 大和屋安兵衛 板